2　第三期北区地域福祉活動計画

基本目標

区民一人ひとりが主人公となって、参加と交流ですすめる福祉のまちづくり

基本計画１　学区社協活動の強化

実施計画１－①
各学区の状況に対応した、身近な地域での絆づくりの推進

- ●気軽に立ち寄り、交流することができる、地域の居場所づくりをすすめます。
- ●社会的孤立を防ぐために、関係機関・団体と連携して、地域での見守り活動を強化します。
- ●地域住民のちょっとした困りごとに対して、関係機関・団体と連携しながら、解決に向けた支援を行います。
- ●学区社協活動の充実のために、より使いやすい拠点づくりをすすめます。

実施計画１－②
次期地域福祉活動計画に向けた各学区社協の重点目標づくり

- ●それぞれの地域性に応じた学区社協の重点目標を設定し、区・学区社協で共有しながら取り組みます。

市・区・学区社協の協働による地域福祉活動の推進

基本計画２　区社協活動の強化

実施計画２－①
地域のさまざまな生活課題を解決するためのコミュニティソーシャルワーク『力』の整備・強化

- ●職員が積極的に地域に出て（アウトリーチ）、地域の生活課題の発見・解決に向けた支援を行います。
- ●地域の絆づくり事業（居場所づくり・見守り活動・相談活動）への取り組み支援をすすめます。
- ●地域や行政、関係機関とのネットワークを通じて、地域に存在する生活課題（社会的孤立の問題、制度の狭間の問題、複合多問題）への支援に取り組みます。

実施計画２－②
社協が行うセーフティネット（生活支援機能）の取り組みの強化

- ●日常生活自立支援事業や生活福祉資金貸付事業については、引き続き質の高い支援に努めます。
- ●サービスや制度につながらない生活課題を抱える事業利用者・世帯に対する支援を展開します。

実施計画２－③
多様なボランティア・市民活動との連携の強化

- ●区民の主体的な参加を促し、地域におけるボランティア活動を活性化します。
- ●大学や青少年活動センターとの連携を強化し、青少年が地域福祉活動に参画できるような仕組みを構築します。
- ●ボランティアグループや NPO と連携し、多様な地域活動をすすめます。

実施計画２－④
大学・企業等との連携

- ●区内４大学や行政と連携し、「大学のまち 北区」らしい地域活動の活性化をすすめます。
- ●企業や団体の社会貢献活動と連携し、災害時の協力体制の構築をはじめとした、新しい活動を検討します。

実施計画２－⑤
福祉への理解をすすめるための、学習の機会や体験の場の充実

- ●子どもたちが、身近な地域の生活課題として捉えられるような福祉教育をすすめます。
- ●地域にくらすさまざまな人がつながり、学びあうことのできる場をつくります。

実施計画２－⑥
災害に強い福祉のまちづくりの推進

- ●行政と連携し、避難所運営訓練等の取り組みを行います。
- ●災害ボランティアセンター設置運営訓練等、災害が発生しても適切な対応ができるよう、災害に備えた準備を行います。
- ●災害時の要援護者対策に向けた準備を行います。また、行政・関係機関・団体との連携をさらにすすめます。